

ポッペンハウゼン (Poppenhausen)

世界文化遺産ローン ラインハート・クレーベ(ドイツ)

12地域が指定される(1991年)

使いながら、生活史しながら守って行く。

18万 ha の広さ

27種類の生態系がある

50ha / 1農家の規模

林業、農業、観光、産業

防風林と牧草地の混在(小動物が来る)

農風景の保存(小さな個人所有の集合体)

ローン羊が特産 生産者がいなくなった

もう一度取り戻そうと上がった

牧草を守るにはこの羊しかいない やせた土地の草を食べてくれるのでやぶ化しない

地元の素材を加工して高品質高価格で自立を図る

農家は民宿、ジャム、加工品で生計を立てる(女性)

レストランで地元の料理が食べられる

ローン地域(Rhon)

12万人住んでいる(3州にまたがる)

草原が広がっているのはこの場所のみである

土壌の種類によって違った植物が育つ

小さな農業が財産となり原風景となる(農業の風景を保存する)

農業がダメになると森になってしまう

食べ物をつくってこの農業を守って行く

ローン羊が原産(頭が黒い) 普通の羊より30%肉が少ない

ニュージーランドから羊を輸入すると石油を消費する

何故安くなるのか(システムがおかしい)

解放ゾーン 自然との共生

自然に親しみながら地元を理解してくれる人々を歓迎する

リゾート地みたいな大きなホテルをつくり、バスで乗り入れる観光は望まない

小さなペンション、レストラン、etcがある

農業といっしょに成り立つことが望ましい

経済の仕組み

エネルギー使用を減らす(輸送エネルギー使用削減が大きな目標)

ナタネ油の使用(車の燃料)

昔の人は自然と共存していた 今自然と共存する手法を大切

